

POLISH BEAUTY



今年のポートショーで日本に初お目見えした「PARKER」。その資本は、イギリスのA.H.Parker & Sons Ltd。メーカー名は「PARKER RIBS」。1886年創業の歴史あるビルダーだ。商用や軍用を中心に、5.1mのレスキュー艇から16mのパトロール艇まで、リジッド・インフレイタブル・ボートのラインナップを幅広く揃える。そのボトムは、厚く頑丈に積層されたFRP。高いシーワージネスを誇り、パトロールやレスキューなどプロユースで使われている。その実績とボート建造の経験をもとにポーランドで建造されるプレジャーボート。それが、ヨーロッパで急成長を続ける「PARKER」だ。

text: Yoshinari Furuya

photo: Makoto Yamada

special thanks: OKAZAKI YACHTS

<http://okazaki.yachts.co.jp>



PARKER 800 Weekend



個性的な逆傾斜したフロントウィンドスタイル、明るく、広く、開放的なキャビン アフトコントロールを備え、釣りにも適したヨーロピアンファミリーボート

小型ファミリーボートの「PARKER (パーカー)」には、大きく分けてオープンとキャビンの2種類がある。ラインナップ中最小のオープンボートは630シリーズ。センターコンソールのSPORTと、パウキャビンを持つDAY CRUISER、BOW RIDERの3モデルは全てオープン。660シリーズは、小さなキャビンと非対称のウォーク・ア・ラウンドが特徴のPILOTHOUSE。キャビンが大きいWEEKEND、センターコンソールのOPENの3モデル。690シリーズはオープンのみ。750シリーズは、オープンのDAY CRUISERとCABIN CRUISER。770シリーズは、キャビンを持つWEEKENDのみ。そして、最大サイズとなる800シリーズの一つPILOTHOUSEは、非対称のウォーク・ア・ラウンド。パウもアフトもデッキが広く、

釣りや作業がしやすいレイアウト。そして今回シートライアルした、キャビンが広くインテリアやエクステリアが充実したWEEKEND。全12モデルをラインナップしている。

その中でも630 SPORTは、BOB (Best of Boat award) 2015の“Best for beginners”を受賞。BENETEAUやJEANNEAUなど大手がひしめく激戦の小型ファミリーボートの中で、デザインや品質、コストパフォーマンスが、ヨーロッパのマーケットに受け入れられた証だ。

*

栈橋に係留された「PARKER」は、フラッグシップとなる「800 Weekend」。外観の特徴は逆傾斜したフロントウィンドシールド。



ビラーを最小限にして、明るく視認性を良くしたキャビンは閉塞感が少なく快適。走行中は船首を向きパッセンジャーシートに、停泊中は対面シートになるダイネット。天気の良い日は、簡単な料理を用意し、ピクニッククルーズに出かけたい。



ノルウェーのデザイナーらしい北欧スタイルは、スタイリングだけでなく実用的なメリットも大きい。キャビンは広くなり、視認性は高くなる。世界的なトレンドでもあり、北欧以外のビルダーやデザイナーも採用するようになった。

アフトデッキに乗り込むと、まず目につくのは、日本のポートフィッシャーに人気のアフトコントロール。釣りをしながら操船でき、離着岸の作業もしやすいショートハンドに嬉しい装備。日本のフィッシングスタイルにも受け入れられるだろう。フィッシングポートと違うところはアフトデッキのソファの広さ。全長7.9mに対して全幅は広めの2.9m。その幅いっぱいソファと脱着式の背もたれ用クッション。そして両サイドの壁面から折りたたみのソファも飛

び出し、テーブルをセットすれば、アフトデッキ全体がU字のラウンジソファとなる。

さらにアフトデッキには広さを確保するためのギミックも。船外機ぎりぎりまで下げられたトランサムは、通常はソファの背もたれ、エンジンをチルトアップする際には中央が前に倒れる。このギミックによりエンジン前部のスペースは不要になり、スターンバルピットを目一杯後ろに下げてアフトデッキを広く使うことが可能となった。また、スターボード側の座面を取り外し、背もたれのゲートを開閉することで、スイミングステップからの乗り降りもしやすい。細かい工夫が、ボートステイを楽しくする。このような装備は、クルージングやパーティーが盛んなヨーロッパでは常識。釣りもしや

すく、クルージングもパーティーも快適にこなせるマルチパーパスの仕様は、日本人の嗜好にもマッチするだろう。

キャビンの印象は、広く明るい。逆傾斜した大型のフロントウィンドシールドやピラーの少ないサイドウィンドウ、大型のトップライト。明るく視認性の高いキャビンはサイズ以上に広く感じさせる。

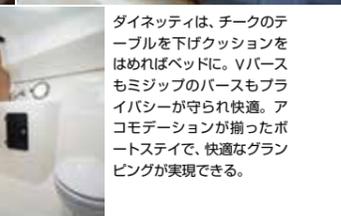
アコモデーションも充実。ミニキッチンにはコンロやシンク、冷蔵庫を完備し、対面式のダイネットは、ベッドに変形することもできる。驚くのは、ナイトスペース。トイレとVバースの他にミジップのベッドスペースを確保した。しかも、それぞれの部屋にはドアが付き、独立したプライベート空間を生む。また、ミジップのスペースに荷物を納めれば、スッキリと快適なキャビンライフをおくるこ

とができる。

*

ヨーロッパで「PARKER 800」に搭載される標準のパワートレインは、マーキュリー・ベラード200馬力。その他に、マークルーザーMCM4.3MPI & スターンドライブの組み合わせや、マーキュリーディーゼルのQSD2.8 (220馬力) & スターンドライブも選択することができる。

今回の「800 Weekend」はアウトボード仕様。日本国内でヤマハの250馬力船外機が搭載された。静かで、十分なトルク。軽く滑るように加速する。1,000回転で4.8ノット、2,000回転で7.8ノット、3,000回転で14.5ノット、4,000回転で24.6ノット、5,000回転



ダイネットは、チークのテーブルを下げクッションをはめればベッドに。Vバースもミジップのバースもプライベートが守られ快適。アコモデーションが揃ったボートステイで、快適なグランピングが実現できる。



全長の割に広いアフトデッキの秘密は、センターの背もたれ。船外機のチルトアップ時にはバウ側に倒すことができる。トランサムを船外機のすぐそばまで下げることができ、アフトデッキの前後長を広げることができた。

で32.2ノット、最高回転は5,300回転、トップスピードは34.5ノットをマークした。波あたりはソフト。飛沫はハルを駆け上がることなく、リバースチャインで落とされ、アフトデッキはドライ。船外機の素直でクイックなマニューバビリティ。不自然な挙動は見られない。急な動作にも傾きすぎず、レスポンスも自然。安心してステアリングを切ることができる。

ファミリークルーザーのカテゴリーながら、トップスピードが34

ノットに迫るのも魅力。エンジンに負担をかけず、25ノット以上のクルーズスピードで、低ロード、低燃費の走りができる。

オフショアフィッシングボートと変わらないボトムデザインや高い船体剛性により、日本沿岸でも快適に走ることができるシーワージネスやマニューバビリティも併せ持つ。「PARKER 800 Weekend」は、家族や友人、大切な人と安心して釣りやクルージングができる、ヨーロッパスタイルのマルチパーパスボートなのだ。 **P.B.**



SPECIFICATIONS . . . PARKER 800 Weekend

- 全長 7.90 m
- 全幅 2.90 m
- 喫水 0.38 m
- 重量 2.50 ton
- 燃料タンク 230 L
- 清水タンク 78 L
- エンジン YAMAHA F250DETX
- 最大搭載馬力 300 HP
- スピード Max 34 kt
- Cruise 25 kt
- 問い合わせ先 オカザキヨット
- TEL: 西宮 0798-32-0202、横浜 045-770-0502
- http://okazaki.yachts.co.jp

